2006 年度

科目名 絵画・工芸（含、理論）		対象学科・学年 教育福祉学部 教育福祉学科 1 回生 G・213 （通年）		担当者 やまもと けいすけ 山本 啓介	
授業テーマ 造形による表現力を高める					
授業の概要と目標 絵画・工芸等造形表現にある専門的知識・技能を修得するとともに、自らの教養を高める。学習は、心を「形や色」に置き換えて表出する造形活動である。即ち、「知と感とわざ(技)」の習得学習である。表現作品は「上手さ」より「誠実さ・工夫」が評価の対象となる。造形の学習活動は、点、線、面、色、塊と造形要素に基づいて展開するので、理論理解とわざの習得に集中することが肝要である。欠席欠課は減点とする。					
評価方法 (1)日常の学習姿勢 (2)実習作品 (3)美術館鑑賞レポート (4)期末テスト (5)学習自己評価票等により総合的に評価する。					
テキスト なし			著者		出版社
参考書 ・適時、紹介する。 ・担当教員より講義・学習資料を供与する。			著者		出版社
授業スケジュール・内容					
講	授 業 の 内 容 (前 期)	講	授 業 の 内 容 (後 期)		
1	レタリング	16	「貼り絵」表現の技法		
2	「線描の基本」	17	紙による立体表現・紙工作		
3	鉛筆デッサン	18	粘土による立体表現		
4	パス表現「パスの基本」	19	「版画の技法」(1)色移し		
5	パスの技法いろいろ(1)	20	「版画の技法」(2)凸版		
6	パスの技法いろいろ(2)	21	「版画の技法」(3)凹版		
7	パスの技法いろいろ(3)	22	道具を使う・木工作(1)		
8	「パスと水彩」の技法	23	道具を使う・木工作(2)		
9	「色彩」ワーク	24	「造形遊び」		
10	水彩表現の基本(1)色遊び	25	日本の美術(1)		
11	水彩表現の基本(2)色溶き	26	日本の美術(2)		
12	水彩表現の基本(3)色塗り	27	世界の美術(1)		
13	水彩の技法いろいろ(1)	28	世界の美術(2)		
14	水彩の技法いろいろ(2)	29	美術館鑑賞レポート（発表と討議）		
15	水彩の技法いろいろ(3)	30	まとめ・学習自己評価		
◆ 個人準備物は、忘れないこと。 ◆ 随時、美術館の鑑賞学習(各自)を行い、学習シート記録(用紙は事前に配布)を12月末に提出すること。 ◆ 返却された作品は整理して、個人資料の作成を行い、保育内容・図工科教育法等の資料研究や教育実習・教員採用試験・保育士採用試験(理論と実技)等々で活用を図ること。					